

南陽市自分ごと化会議  
第2回会議の意見、改善提案シート、取りまとめ結果

■課題・提案の分類結果

1 市内中学校の施設を見直す

- ① 誰にでも使いやすい施設になっていない
- ② 中学校の今後の姿が明らかになっていない

2 充実した学校生活の提供

- ① 部活動の選択肢が少ない

3 地域で子どもを育てる意識づくり

- ① 子どものための施設が少ない
- ② 若い人が市外に流出してしまう

## 1 市内中学校の施設を見直す

課題①		誰にでも使いやすい施設になっていない
改善 提案	個人の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 障がいについての理解を持つ。</li> </ul>
	地域の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ○○するようなボランティアに協力する。</li> </ul>
	行政の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● トイレの個室を広くする改修をする。</li> <li>● エレベーターやスロープの設置を行う。</li> <li>● 医療的知識のあるスタッフの配置。</li> </ul>
	その他の 主体の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> </ul>

### 【補強意見】

-

課題②		中学校の今後の姿が明らかになっていない
改善 提案	個人の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中学校生徒数の変化の実情及び今後の予測数を知る。</li> </ul>
	地域の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 将来的な中学校統合の必要性を認識する。</li> <li>● 統合後の空き校舎の利活用について議論する。</li> </ul>
	行政の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 将来的な中学校統合の議論について、避けては通れない課題であることを市民に知ってもらう。</li> <li>● 空き校舎となった校舎の利活用方法について議論する。</li> </ul>
	その他の 主体の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> </ul>

### 【補強意見】

- 学識経験者や民間コンサル等の専門家の意見を取り入れたり、他自治体の事例を参考にする。
- 東南置賜地区の高校の統廃合とも関連するので、高校統廃合の議論も注視する。

## 2 充実した学校生活の提供

課題①		部活動の選択肢が少ない
改善 提案	個人の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中学校の部活動の数を把握する。</li> <li>● 各中学校で実施している部活動の種類や部員数を把握する。</li> <li>● 南陽市が「強い/力を入れている」と認識されているスポーツや文化活動について知る。</li> </ul>
	地域の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校同士で合同チームを作る。また、合同チームで練習できるような場所とコーチの確保。</li> <li>● 個人で行う種目(文化部含む)については、学校の枠をこえて活動する。</li> <li>● 各分野の経験者は指導者として協力する。</li> </ul>
	行政の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 専門知識のある担当者を民間にお願いする。</li> <li>● 各学校や地域の状況、生徒の要望等の把握に努める。</li> <li>● 部活動のスクールバスを運用する。</li> <li>● 特定の分野の指導者を招聘するなど、市を挙げてスポーツ/文化活動を盛り上げていく機運を高める。</li> </ul>
	その他の 主体の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一つの部活への複数人の協力を依頼する。</li> <li>● 一般のスポーツチームや文化サークルと中学生が共同で活動する。</li> <li>● 中学生向けの競技会や講座を積極的に開催していく。</li> </ul>

### 【補強意見】

- 部活動の柔軟化の問題については、部活動の地域移行とも密接に関係することであり、教員の働き方改善にもつながる。
- 部活用のスクールバスは市内の中学校をつなぐルートを走ることとし、放課後に部員を一校に集め、その集まってきた学校の教員が顧問としてその日の活動を見るということにすれば教員の負担軽減にもなる。

### 3 地域で子どもを育てる意識づくり

課題①		子どものための施設が少ない
改善 提案	個人の 取り組み	● 今使うことができる施設を使う。
	地域の 取り組み	●
	行政の 取り組み	● 既存の施設を開放する。
	その他の 主体の 取り組み	●

#### 【補強意見】

- 

課題②		若い人が市外に流出してしまう
改善 提案	個人の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地元の企業について調べ、みんなで共有する。</li> <li>● 地域の活動に参加する。</li> <li>● 地域の会議で発信する。</li> <li>● 中学生への声掛けを行う。</li> </ul>
	地域の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市報などで市内の職業のPRページを作成する。</li> <li>● 地域のことを整理する。(歴史、文化、施設など)</li> </ul>
	行政の 取り組み	● 新規企業の立ち上げサポート。
	その他の 主体の 取り組み	● 職業体験だけではなく、地元企業に来てもらい中学生に話をする。

#### 【補強意見】

- 大きな観光パンフレットに載っているような有名施設ではなく地域の小さな神社の伝統などを調べて中学生に伝承する機会を設ける。